

新年のご挨拶

森町長 岡嶋 康輔



新年あけましておめでとうございます。2026年の初春にあたり、心よりご挨拶申し上げます。2025年は、森町と旧砂原町の合併20周年という大きな節目の年でした。

今年度は、「20周年」を冠とした記念式典をはじめ、町内各地で多彩なイベントが開催され、多くの町民の皆さんにご参加いただきました。地域全体が温かさと活気に満ちあふれた一年となりました。企画や準備に力を尽くしてくださいました実行委員や関係者の皆さま、会場を盛り上げてくださった町民の皆さんに、あらためて御礼申し上げます。

加えて、物価高騰が続く中でも安心して暮らせる生活基盤の整備や、デジタル化の進展を活かした行政サービスの向上にも力の皆さんに、あらためて御礼申し上げます。頻発する自然災害への備えや人口減少対策など、自治体が直面する課題は多岐にわたりますが、町民のみを振り返るとともに、地域の一體感を再確認することができました。皆さまの笑顔、さまとともに知恵を集め、未来に向けた持続可能な地域づくりを着実に進めてまいります。

さらに本年は、北海道森高等学校（森高校）野球部の復活と活躍が、大きな話題を呼びました。長らく廃部となっていた部活動が、2025年春に再スタート。

新しい年が、皆さまにとって健やかで、実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

部員は4名と少數ながら、未来へ踏み出したその一歩は、地域に夢と希望を取り戻す象徴となりました。今後の飛躍を期待し、町民みんなで温かく応援してまいりましょう。

また、国の財政政策が積極財政へと舵を切る中で、地方自治体には新たなチャンスが到来しております。しかしながら、国の支援に依存するだけでは、地域の持続的な発展は実現できません。私たち森町が目指すのは、「地域にしかない価値」を町民が創造し、それを引き出していくエンパワーメントの町づくりです。合併20周年で確かにこの「住民の絆」と「地域の誇り」を礎に、社会福祉・教育・防災・再生可能エネルギー・産業振興など、多方面で取り組みを進めています。

今年度は、新たな「住民の絆」と「地域の誇り」を礎に、社会福祉・教育・防災・再生可能エネルギー・産業振興など、多方面で取り組みを進めています。また、国は4名と少數ながら、未来へ踏み出したその一歩は、地域に夢と希望を取り戻す象徴となりました。今後の飛躍を期待し、町民みんなで温かく応援してまいりましょう。

北海道森町の皆様、明けましておめでとうございます。令和8年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、両町にとって特別な年でした。10月には、北の森町の誕生20周年記念式典にお招きいただき、心温まるおもてなしを受けましたこと、深く感謝しています。そして11月には、南の森町の合併70周年記念式典に岡嶋町長と木村議長をお迎えしました。共にこの歴史的な瞬間を祝うことができましたことを大変うれしく思います。

さて、南の森町では「e-Bikeのふるさと森町」をテーマに、ヤマハ発動機株式会社と地域活性化に取り組んでおり、森町体験の里アクトイ森に今年度中の完成を目指してマウンテンバイク（MTB）パークの設置を進めています。この施設は、自然豊かな環境でMTBに触れ、体験していただける場となることでしょう。また、明治時代に台湾と静岡で、烏龍茶・紅茶産業の発展に尽力した藤江勝太郎氏の生家の改修も完了する予定です。この歴史的建造物が文化交流・国際交流の新たな拠点となり、多くの皆様に訪れていただけます。

今年はこれらの新しい事業を通じて、北の森町との交流がさらに活発になり、両町の友好の絆がより一層深まることを願っています。伸びに、貴町のますますのご発展と、新しい年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

静岡県森町長



太田 康雄

森町議会議長

木村 俊広



森町の皆様、新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春を迎え、森町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会の実現が、何よりも肝要であると思いまして、昨年を振り返りますと、新町森町が誕生して20年という節目の年がありました。20周年記念を冠したイベントや通常行われてる催しについても盛會裏に開催されており、関係者の皆様方の継続した、そして、割の重要さを再認識し、こうした課題等に強い意志をもつた頑張りに対しまして、改対し町民の皆様の声に耳を傾けながら、議めて敬意を表するものであります。また、これまでの新町森町として歩み、育んできた20年は確かにものであり、今まで皆様方から頂いた様々なご指導、ご鞭撻を参考にと思います。

一方で、国内外のニュースを目にしても、諸情勢は厳しく、物価の高騰は続いている。人手不足の問題、人件費も高騰しております。中でも長く続く気候変動により、森町の基幹産業である漁業、農業は、極端な不均衡が目立つ状況であり、私達の生活に深刻な影響を与えております。森町としましても、町勢の発展を図るうえで、健全な行政運営の構築が喫緊の課題となつております。

森町の皆様には、令和八年の新春を穏やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、森町・外ヶ浜町の合併20年、そして両町の友好町締結10年という大きな節目の年がありました。

自治体の先行きが見通せない中で「町村合併」という道を選択し、その成功に向けて尽力し続けた両町の多くの関係者の皆様に対し、改めて感謝の意を表する次第です。

さて、昨年は当町恒例の「外ヶ浜町港まつり」に岡崎町長・木村議長をはじめ多くの皆さまにお越しいただき、出店やステージにおいて、「砂原権現太鼓」の披露など、花を添えていただきました。当日は、地元、蟹田中学校の生徒も「風太鼓」を演奏し、両町の和太鼓を楽しむことができ、生徒にも観客にも大変好評をいただきました。

また、外ヶ浜町から「権四郎ふるさとの会」を中心毎年楽しみに伺っている「森町さわらぶるさとまつり」では、あいにくの室内開催とはなりましたが、当町のベリーダンスチームも出演させていただきました（実はその中に私もおりました）。

10月に開催された両町の20周年式典では、相互に出席し祝辞を述べあうなど、例年にも増して交流の機会に恵まれた一年となりました。繩文時代から続く歴史を共有する森町と外ヶ浜町が、この節目の年を契機に友好を一層深め、相互に協力し、ともに繁栄していくことを心より願っております。結びにあたり、森町のますますのご発展と、町民の皆さまのご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

青森県外ヶ浜町長

山崎 結子



この様な中で、森町議会は住民を代表する機関として、行政に対する監視機能を始める議会の果たすべき役割の重要さを再認識し、こうした課題等に強い意志をもつた頑張りに対しまして、改めて敬意を表するものであります。また、これまでの新町森町として歩み、育んできた20年は確かにものであり、今まで皆様方出来ますよう積極的に努力してまいりたいと思います。

結びに、どうか町民の皆様のご指導とご協力を切にお願い申しあげるとともに、新しい年が最良の年になりますように、祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていたしました。